

「令和元年の…」和田

今月は私の事務所通信の順番です。なにをテーマに書こうかな? 「新元号 令和」「イチロー選手引退」「5月の大型連休」「東京オリンピック」…うーん。

悩んだ結果…**今年もやります! 福知山ドッコイセこども大会!!** 昨年は、人気アーティストベリーグッドマンのオープニングライブ&50店舗以上の屋台&400人以上のドッコイセ踊りの子供達に参加していただき大盛況となりました。令和元年、第35回目を迎える**ドッコイセこども大会**はますます盛り上がりを見せることでしょう。私も活動させていただいております、福知山商工会議所青年部。メンバーは80人を超えて、さらに増員しております。楽しいメンバーで盛り上げたいと思います。

え? どんな内容なの? って? 内容はまだ今のところなにも決まっておりません…笑



## 今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード:【ベンチャーキャピタル】

高い成長性が見込まれるベンチャー企業などの未上場企業に対し、成長のための資金を提供する機関のこと。投資した企業が株式を上場した際には、その値上がりした株の利益を得る一方で、投資した企業が上場までに至らずに終わるケースも多いため**投資先の選定には注意を要す**。投資は、金融機関や事業会社などから出資を受けて組織した投資事業組合を通して行われ、**成長途上の企業にとっての有力な資金調達手段**となっている。

## 偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【天真らんまんアイデアマン「後藤新平」】

明治から昭和のはじめに、医師出身にして中央政界に進出し、台湾や満州での都市計画、ロシアとの外交、関東大震災後の東京の復興などに尽力した



後藤新平は1857年、現在の岩手県奥州市に生まれました。仙台藩の家臣の名家でしたが、戊辰戦争で敗れて士籍を失います。しかし、秀才として知られた新平は、廃藩置県後に着任した県の大参事である安場保和の目に留まり、その将来性を見込まれて**医学の道へと進みました**。医師として

研さんを重ね、みるみる頭角を現すと若くして病院長に就任し、ドイツ留学も経験します。さらに新平の関心は、次第に個々の患者の治療から病気の予防へ、そして社会全体の衛生へと発展していきます。それが中央省庁への勤務、政界進出へとつながっていきました。新平が日本国内や植民地統治において大切にしていたのが、まずは**現地の実態や慣習を十分に研究し、現地の風俗を尊重しながら状況に応じて政策を進めること**だったといえます。医師出身の科学的な視点を持つ新平ならではの手法から「**科学的政治家**」とも呼ばれました。また太っ腹で気が短かい性格ではあるものの、愛情が豊かで部下に慕われる人間的な面もあったとか。日本のボーイスカウトの祖でもある新平は「**人のお世話にならぬやう、人の世話をするやう、そしてむくいをもとめぬやう**」と、いつも少年たちに説いていたそうです。

今を生きる

先人の言葉

今日という一日は  
明日という一日分の  
値打ちを持っている

米国の政治家であるベンジャミン・フランクリンの言葉。今この一瞬はすでに過去となっている。そして明日が訪れる保証もない。今日という日を大切に生きよう。

